

# キャンドルの作り方

## 【用意するもの】

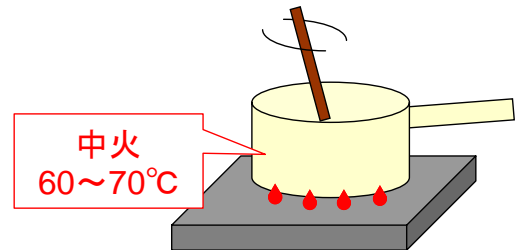
材料[1個あたり]:	石油系ワックス(パラフィンワックス)	225g
	樹脂系ワックス(パルバックス)	25g
	※これらはろうそく屋さんで手に入ります。	

## 道具:

- ・ガスコンロ
- ・おたま
- ・彫刻刀
- ・水入りバケツ
- ・温度計(200°Cまで測れるもの)
- ・鍋
- ・カッター
- ・ガムテープ
- ・軍手

## 【作り方】

- ① ワックス2種類を入れた鍋を火にかけて溶かします。  
温まり過ぎないように中火で溶かしていきます。  
(ワックスは45°C前後から溶け始めます)



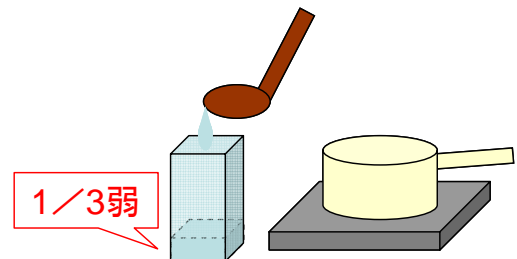
- ② ワックスがある程度溶けたら温度を測ります。  
温度が60~70°Cの範囲で溶かしていきます。

### ！注意！

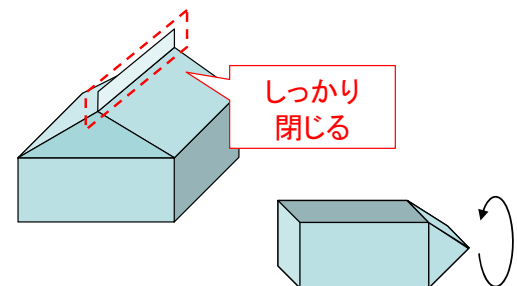
温度が高すぎると固まるのに時間がかかります。

また90°C以上になると牛乳パック内側のコーティングが溶けてしまいますので、火加減を調節してください。溶け残ったワックスが少なくなってきたら火を止め、余熱で溶かします。

- ③ ワックスが完全に溶けたら再び温度を測ります。  
温度が高い場合はかき混ぜるなどして冷やします。  
60°Cくらいになったらワックスを牛乳パックに入れます。



- ④ ワックスを入れたら、牛乳パックの口をガムテープでしっかりと閉じます。あとは、牛乳パックの内側に均等にワックスが行き渡るように牛乳パックを回転させます。  
(10~15分で固まります。根気強く回しましょう。)



### ！注意！

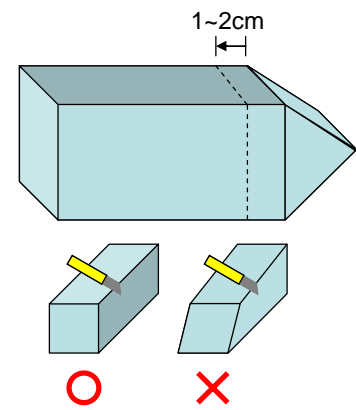
激しく振ったりすると、ワックスが泡立ってしまい、きれいなキャンドルになりません。

- ⑤ ワックスが固まったら、牛乳パックの上方をカッターで切ります。

**！注意！**

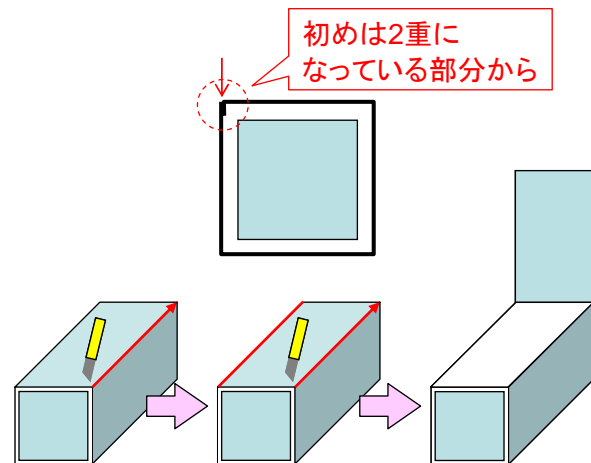
切るときはまだ全体が固まっていません。

出来上がりがゆがまないように、できるだけ角を持って切ってください。



- ⑥ 切ったら、水が入ったバケツの中で冷やします。  
底の部分が一番冷えにくいので、底が冷めるまで冷やします。

- ⑦ 冷めたら牛乳パックを外していきます。パックの2枚重ねになっている部分にカッターを入れ、側面から順番にパックを外します。  
最後に底を外します(底の部分が十分冷めていないとなかなか外れません)。



- ⑧ 中に点灯用のロウソクを立てるため、溶けたワックスを少し流し込み、ロウソクを立てて、固まるまで支えておきます。

- ⑨ 彫刻刀などで、風が通る穴を2面に開けて完成です。

